

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパⅡ講座・教授
氏名 Name	田邊 欧
専門分野 Academic Field	北欧文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	<ol style="list-style-type: none"> 1. デンマークにおける文学の社会包摂機能に関する研究 2. カーアン・ブリクセン短編小説研究
<p>研究テーマ 1 について</p> <p>大阪大学共創機構・社会学共創本部のなかに立ち上げられた「異文化理解クラスター」において以下の活動を行ない、文学のもつ社会包摂機能の可能性について実践を通して研究を推進した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化理解クラスター スタートアップミーティング 「異文化交流がひらく未来 ～デンマークの演劇を事例に～」と題して、「言語教育を補完するような、異文化理解のためのキーとは何か？」について公開討論を行なった。文学（フィクション）が「語りづらいものを語るための装置」、「言葉をより深く知るための装置」として機能すること、そして外国語文学に触れることは、「異文化として自分を再発見するために有効である」と発題した。（2018年8月29日：アートエリア B1にて、クラスターのメンバー：田辺欧、大辺理恵、さくらこりん、肥後楽） 2. 8月29日に一般市民に向けて発題したことを、実際に外国語学部・デンマーク語専攻の授業（大辺理恵担当の授業）を通して実践し、その成果を12月に「デンマーク人演出家による人形劇『Paradis』上映会」にて公開した。現代デンマーク作家の絵本の原作に触れ、リメイクされた人形劇の日本語字幕を制作する過程を通して、「絵本から人形劇への翻案」、「デンマーク語から日本語への翻訳」等のテーマについて、学生、一般市民と語り合った。（2018年12月21日：大阪大学21世紀懐徳堂スタジオにて、上記のクラスターメンバと外国語学部・デンマーク語専攻3・4年生の学生） <p>研究テーマ 2 について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究成果を論文「ブリクセン文学にみる娯楽性—『まぼろしの馬』（<i>Spøgelseshestene</i> : 1955) 小論—」として研究誌『IDUN-北欧研究』Vol.23, 2018. 2019.3.30 刊行予定）に発表した。 2. 研究成果を「21世紀にカーアン・ブリクセンを読む・みる・感じる」と題し、日本比較文学会・関西支部例会（2019.1.12.甲南女子大学）において発表を行なった。 	